

2024年1月19日

鉄道防災教育・地域学習列車「鉄學」事務局
西日本旅客鉄道株式会社

鉄道防災教育・地域学習列車「鉄學」の実施について

～きのくに線の団体専用列車に乗りながら、沿線資源を活かす方法を考える～

和歌山大学と西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社では、鉄道に乗り紀伊半島にある歴史や文化・資源などを学びながら、列車からの避難方法も体得し、率先避難者を増やしていくことを目的とする鉄道防災・地域学習プログラム「鉄學」を実施しています。この度、下記の通り「鉄學」列車を運行しますのでお知らせいたします。

1. 実施目的

- ・列車乗車中の率先避難者※を拡大する
(※緊急時に周囲に避難を呼びかけつつ、自ら率先して避難する人)
- ・きのくに線の沿線価値や津波対策の学習資源を再認識する
- ・ローカル線の新しい&多角的な価値の創出や新たな魅力の創出する

2. 実施日時・区間

2024年1月28日(日) 午前11時38分串本駅発～午後2時59分新宮駅着

3. 実施内容

団体専用列車として設定した「鉄學」列車に乗車し、沿線の風景やジオサイト、歴史、文化などのスポットを車内で学びます。また、緊急時に列車から降車し、避難する方法も学びます。

4. 参加者(予定)

約60名(南紀熊野地域のまちづくり関係者・JRきのくに線の活性化に関心のある方、鉄道・道路事業者、和歌山大学生)

※すでに参加募集は締め切っています。

5. その他

- ・「鉄學」列車内では沿線風景・価値・文化・鉄道防災に関する特別講義、ならびにJR西日本社員による津波対策の講話などを予定しています。
- ・運行状況により、訓練時刻の変更や訓練を中止する場合があります。
- ・本事業は、令和5年度国土交通省地域交通共創モデル実証プロジェクト（人材育成）採択事業「鉄道のピンチに立ち向かえるパイオニア人材育成事業」の一環であり、鉄道防災教育・地域学習列車「鉄學」事務局が事業実施主体となるものです。

※鉄道防災教育・地域学習列車「鉄學」について

「鉄學」のこれまでの取り組みなどについては、ホームページもご覧ください。

<http://tetsugaku-train.com/>